俳諧季寄大全

坤

俳諧歳時記

洛中名所

山城

○西京　○内裏　九重　百敷　宮井

○南殿　内侍を近接　○清涼殿

○夜の殿　天子　内侍　女　飲食

○萩戸　秋の色　○黒戸

○相国寺　稼家山門塔　宝家の墓あり　六月十七日

堂中俗説季寄大全下巻

雑の部

二季を争句は雑也　花紅葉　寒暑と結句

花花紅葉と続る句　又四時不断ある物は雑也

松竹の紅葉　米　麥　豆　松の緑等

名名の虫　小豆　秋　桂　実は秋

村雨　蒲　夏　菱　夏　藻　夏　虹　初秋は夏

蓬生　梯　蛤　浜芋　芦　角は夏　穂は秋　若葉は夏

柱は冬　菅　苔蒋　早　電　氷雲

清水　弦は夏　梅干　蓑虫　鳴は秋　梅漬　玉虫

象　鷺　山名　都名　鮒　鯖　鰯

陶物　雁　同巣　鶯の塒　聖鶯　離鶯

鵲　鴨の羽盛　梅壺　梨壺　桐壺

萩壺　鴨沓　弁扇　祝扇　橋栗

冥途　戸の鳴　蜘　同巣　鼈　布

まつ風　とふやき　むすび　園幡堂　茶師どんの上

○蜻蛉茶師　茶師通り　○仏光寺　仏光寺通

○清聚庵　一向宗　二月　狭塔　六月　涼

○瑞光院　天神の辻　移家社　井清聚庵　四十六士

○東寺　九条の小坂　山門五重塔　釈迦

○釈迦堂　千本通　三月　千

○千生寺　同　地蔵　井

千生念仏　三月十四日より　廿四日まで　狂言あり

接　頭とり　えんま　閻魔　人数

あり　知たことをうちて一笑ものしるものの　やてんぐとふりくの面を覆てくれ面を八丁

○為糸　茶花　仮世のくるとり　三月　念仏　八丁

七月　揚屋町　井　坊　八丁

○聚楽　城　左　○貴の宮　宮町　四条通　小結柳　四条通

○西陣　織屋　○魚の店　○竹の内　二条　動産能　衣柳

けさ衣　○釜の座　三条治師　○柳の下

衣柳通の小出和泉の屋敷　○空也堂

○三条橋　橋の下　立歌舞伎

○向屋町　五条の橋つめより　大仏の西ぬまでもりのまち

○丸太町　○竹屋町　○撫木町

月　日　日蝕　月蝕　天川　銀河　銀浪　雲　霞　虹　暈氣　蜃氣楼　電　稲妻　遊糸　月の暈　富士の烟　浅間の煙　松竹柳草木雨等の烟

せまのを引のはせそこそ木
炭あの市者多一

○なハて　也ホ　○茅葉ホ　ぱんと町　えーき

○石垣町　地ハホ川多ハ地て風条ぎき条
ぶ条ー　けえちの　りりぶなどる
りりりー　○宮川町　ほのあをこーりふーしきふ
あるなり　あをぶ条ーき芝布役者
の家入色ふ　○土手町通　大ゝ町袋丁新
丁なとこ云てうふハ
くも川表ぞ地人今者のたこや又富人の外宅
ホ々高山ホ山のけー　きやう　あくふあり
○藝名る　せいぐるん　ー通京ホの天地
なりゝ京東ふあくる　○城心
院　新たの橋ゝこ式ア
口せきん藝紀ふ傳る　○三時知恩ち
入伝殿と云院を尼公之
るぼりしをつくりあれ　○六角堂　院之地の
坊立花の

霧ハ降拘降拘両用也

降物　ふりうりてたがひみ二句去二句
つゞく一句みてもまろる

雨　雪　霙　時雨　吹雪　露　霙　雹

霖　白雨　雪ふまき

祇園　三句去三句つゞく
一句みてもまろる

伊勢太神宮　日本六十余ヵ所名
宮　社壇　遷宮

三寸長官　社頭　社　祭礼　洗米

巫師　拝殿　祝言　初　散米　神主

宗ーどく　なり　○祇園堂　時ホ五条の橋の西南ち
の徒南をおて業とた
黄ホの外　表ホの外　四ホの外
ちどあきさめ妻帯ん　○丹波口　高ちふふ
近きふ

○清水口　小山きふねくきなどへ
通る新たのあ口なり　○くら
るま口　くるまなり　○大宗口　九ちたぶ　やせホ
ひえい山へある

荒神口　吉田黒谷　白川
ちが谷へあるる口　○栗田口　大徳
寺路　近ハ　○祇園　ちの感神院千本
のあ口　の橋けりちの神る元
日の寅の一天ふ杉の木のけりりけふあくこしき
大をきるを皆人大なるふ殺しくりて雑茶の
こめふ用ゆ故ふ終年の秋ちぶくん　じ四に途中
ぞ五ふのくーりゑりひるあるを四年の春祇園に
各和風車　○二軒茶屋　中むぶや　茶やどころ
どうぬ名和又うる薄と

川秡　四秡川　麦藁　形代　叩首　拝むすを　神乗　大前張
あふおこの秡　ふ
小前張　星訊　阿知女　起請　誓紙　神文　ちぎりぶさー　丹波ふ
採物うる　里神乗　神を補ちり　伊勢講　太々講　参宮
かりし

非神祇

恵方　年徳　男山　放生川　於宮
稲姫　山姫　精進　佐保姫　於田姫
釈教　三句去三句つゞく
一句みても持る
諸仏の名　諸菩薩の名　仏祖の名

○摂の名坊　なーー　ろぽり町　茶屋豆
ふやちー
○東山　東の山ゝの地名ん名のところハ地人ぶき
きゆるどし（霊物集）　○園山　○安養寺
ち中佐ホ外ホ端の寮と云也ホ外眼ホ外
名地の屋あり　四ホのこ屋ありこれ皆二ぢつくりそ
風条ふき屋すきやまりばありて
ーーぎーきなり時宗ホて妻帯ん　○先葛が
系　○長乗寺　時宗一屋の名ホ外ち
風条佐ちう四ホ号ゝ
○双林寺　西ホ新ホの塔あり芭蕉塚ハ後
名の碑の名なり　ち中六ケ寺ぢ
屋ーき　○心法寺　ちー中十二軒が屋ーきこ
ちれ
○園ホ堂　西ホ上人の像山上ホあり　友月
も涼しきホなり　又上人い世

諸仏祖の名　諸仏法衣　諸の官名

諸宗仏具　祖渓の名　諸山号院号

寺　門跡　僧侶　念仏　舎利

精舎　堂　上人　題目　数珠　伽藍

和尚　塔　和讃　拂子　庫裏　長老

法義　祖　木魚　方丈　僧都

法問　五鈷　衣　眼鏡　能化

説義　猶祖　客殿　笛　新化

さんぐうのぼうり　狂歌をあをいせくまのきんぐうのものゝけがれをのぞく御ぬをさぐくと　○拳白堂　ちゝ清水の号柄の称号なり

○八坂　ふぢうのとく　釈浄蓮八さがでふふ住〳〵とき唐のとむきいひつらふ　○三年坂　京清水ゆあとやがすしところあとやのまり川ハ六ちゝふ

○孤書堂　りんさうあり　楽南よぐ川くらせんのたのも　炉あり　○清水　寺の名所やまこき地ごんげんさくふ　より分命をあ　まんぐんあるものまれ　ふとひあつるすあり　堂内の寺人とれをきんするやくとあり

○大仏殿　方廣寺坐内ふ珠数花小弓もの屋とれハ反もおのゞ〳〵冷光あり　原礼拝のぬき完をくりて拝の火ぢをを頼ぶ大殿世年名子〳〵名物　○妙安寺　関西薬師の本寺

○耳塚　○三十三間堂　菖蒲を陪彫彫　山平愈ちとしふ

○建仁寺　祇園ほどい塔あり　○旅夷の社　ハ山ふ一ち数日を名とふ　○日の岡　日の岡峠ハ南北西　門内ふ入路口ハ栗田天王の拝社ふ紀恩院　抽むスさうの子と云ふ　○蹴上の滝　栗田峠ふ

○白川　里川流ふ多ふ泳今す白川山より　洛ふ多て寺る菜大根の類をも　○南禅寺　禅宗ハ栗田口ふ　○黒谷　光明寺三重の塔ハ大池あり　○鹿ヶ谷　俊寛の山庄あり　○法合谷　○如意ヶ嶽　大文字山とい七月十六日の昏ふ大文字の形ちふ火を点ハ海寺村より分れすゝ　○生死堂　ふ行念仏の月あり民ふ内ふ　○吉田　里山吉田の安倍田殿　○弁財天　日本玉中の弁社を祀

○奴茶屋　○華頂山　○兵庫　○鞍馬　出家　釜　観念　燕尾　帽子　輪蓋　渥頂　行堂　主座　座禅　厨　頭陀　宿坊　汝門　悟道　袈裟　偈　入定　汝弥　禁足　素稍　五戒　坊　衆徒　禅定　天蓋　破戒　護摩　尼　血脈　坐具　持戒　生飯　花曼　頓写　訓誦　訓経　花足　香経　五輪　鉢和　常香　桂杖　引導　塔婆

順礼　線香　錫杖　彼岸　石塔　鉢肉　林系　回向　卵塔　因果　六道　地獄　功徳　非時　齊　流物　迎雲　来迎　極楽　豆腐　作麼生　結跏趺座　補陀落　須弥座　三界六道　薬偈　梵論　虚空偈　是八釈ふ二句去　非釈教　煩悩　坊主落等の釈の詞　釈ふ　鐘

書記　碩学　警者の釈名　諸職人の釈名　法布　法格ふ之

西部　水戸ふも釈教ふも二句去　一句づゝ一句ふてもまつる

帝釈天　辨才天　多聞天　持国天　塔長天　廣目天　聖天　大黒天　毘沙門天　摩利支天　かくのぬく天とよびくる弁ちの外と真言　山伏　蘇氏　将来　兎中　修掛　拾数　梓神子　立形　通夜　雨皮形箱　月待　日待　庚申待

弁仏をつきくるる句真言なり

恋の詞

恋　夫　妹許　吾氣　玉章　恨　婦　詢　女房　二タ乃　妹脊　娘　情　媒　落情　形牙　姿殘　仇　妬　契　内美　紅脂　嫁　恨　妻　腰元　口紅　妬　妾　咒　花妬　難面　爪紅　孕

後花園大炊御門ことゆハ　○聖護院　東山　山伏の本寺の一院きうの社　○乳　下略六月十九日より三十日まで　ゆ名　○砂川　ゆ名あり　○乾菜ち　太閤秀吉公ほし菜をけんして此名あり　○泉川　いどこ川今木津川と云　○銀閣ち　又村の名　禄宗義照寺　義政公閑居の地なり　○志賀の山越　山ゑろより近江志賀の里へ出る道　○瓜生山　瓜生坂　白川ゆ　ありたく　○一乗ち村　名木　○矢背月　瓜の名ゆ　○大原　おほハらとも里山炭がまゆ多　○矢背　やせおりとも　女ハ薪を負ふ　男ハ山ゆ刈て木をこり　女ハ薪を負せ又かゝゆ　どきて　ゆ　ゆ　ゆ

○雲林院　多し　○七社　洛中の所々祠多なり又ハ多し　男女の縁を祈る縁結びの守札ある社ハ賀の宮社ハ男女の縁を結ぶ又ハ縁を切る

○鷹ヶ峯　○弘法山　山の形弘法に似たり　禁ハ火葬所なり　今世の三昧ハ鳥谷山七条　○紙屋川　小野と平野との間の川なり紙を漉きし川故よい川と云ふ　○金閣寺　鹿苑寺　山の禁南面北面義満公の山左なり今若ちと似三重の閣金箔をもてちりばめ　孫宮門内に此あり響詳り住　○花園　禁山をゝ奇之又世にをしのちと名あるなり　○隠室　○仁和寺　仁和寺住ハ女の条　隠室ハ花見の地之(後述)ありうなの多又ちとうさ見へくうに隠室ちとよ仁和寺より　○鳴滝　仁和寺のもく山砥石をもとなるときの砥とうの山北はちとき砥と　○柳の尾　きの山ちなし八葉をもつて業比山より移すの葉蓋ハもしめ　○高雄山　岩雄ふ又割刀砥　名ハ砥比又ハ上人比山ハ砥比熊門の外ハ鳴滝川のほとりの名ハ有名なり　○小野　宮森野山の拾ハ三尾の路とて　○山野　あく毎月廿五日出る市ハ西京の馬場門の外ハ有又ハ五のとき多り社ハ也とし　○平野　社柳杉杉　○双ヶ岡　重好の墓あり　○廣沢の池　月を愛(後述)石照ちの堂ハ池のもとり　○大秦廣隆

寡婦　辰人　継子　非述懐の詞　白髮　三ツ輪祝　おちぶれて　貧　眉の雪　倦　病人　苦　苦衣　乞食　世を捨る　思　賤　山賊　庭訓　窮戸　尉　翁　窮鬼　孫　家尾　磬女

述懐の詞　二句去一句ともすくる

○清滝川　比川ハいとけの流原曲ありの人ハ滝　といふこれ十丁目ハあり　○猿ヶ辻　比川ハ辻ハ　○小倉山　星鹿　○二尊院　日山の外西　上人田せき　○小倉山荘　時雨の亭　定家の居　○聖の宮　天満ちの小倉のちハ柳の地なり　○思木の多石　皮付の木をもて作る　小倉ハ小倉ハ　○天満ち　菅丸山の替　孫ハ菅丸　○醍醐　だいご菅丸とハ　九月九日ハ五とり山ハ　小塚流又石三宝院　○小栗栖山　○黄檗　名　宇治　里　町

ちハ条篭してハ波の局南条ハ有ハ三ヒ　と称しるの又ハ条と称ちハ当ちのやしとちつせう　くうん世条人仏ハ条を祈ち従ハ仏ハ豊臣又牛ハ　九月十二日の秋非人ハ尼冠をいくぐさ牛ハ　祭文をとゝ上ち条清の　おなハ上ちハ条ハ　○岐王ち　従ハ絶ハ　三月十九日開帳　ハ牙のくびあり　王後女止知仏ハ涙　○清源ち　釈迦堂　○京見坂　洛中目のハハを　あちちなり　○京見坂　六月廿四日ハ日指廿三日の　ハちの作　○愛宕　愛ハ　若尾ハ　○大秦廣隆　○大岩　小波　名ハ山の　○樒ヶ原　名ハ之　条清の　男女ちさ条を求めて上白ハ坂ちる十丁ハ　上の条ちを下の条ハ　ちさ条ハ　名ハ之

人倫の詞　二句去二句づく　一句ともも捨る

祖父　父　兄　姉　系　息子　娘　妃　祖母　母　弟　妹　妻　子　孫　女房　伯父　嫂　男　夫　親　亮　猶　従弟　伯母　姑　聟　聖賢の名　実名　俗名　僧法師の名　傾城白拍子聖三昧の名　はか幸して去ろべし

非人倫の詞

帝　皇女　本院　新院　仙洞　太子　宮　紀王　門跡　大君　仙人　人間　一門　兄夫　眷属　二人　三人　大将　雑兵　衆生　典侍　外科　老若　鉞鼓　八乙女　百姓　旦那　歌　俗　不仁　唖聾盲よく　思同志　代友

たにしハなをふ（の）ゐ中なり　宇治橋　は川の
宮ふ水ゐ名ゐひあゐをゑ伏　宇治橋　は川の名
宮ふ水ゐ名ゐひあゐをゑ伏　宇治橋　は川の名
橋上絶景之　○山吹の淵　旭山　郭日まんは
ゆゑ　くれを照伏

○橋姫社　通ふの景色　通ふ伝
景をゑ〜〜渡人ふ絶〜旦ゐ〜の
あゐ〜〜ゐをふとゑり通ふが像ゐ　景ふ上林
景ふの景ふ〜〜ゐ景とゑ景をゑ
つゑ〜〜ゐゐ伝家〜ゐ　祭伝ゐる事あり

○宇治の紫　合せん　○平等院　門ふ向
扇の芝

○玉手　名　伝ふ名　○井堤　名　山吹

○玉河　西ふ流て木津川ふ入　名　○懶満寺　村ふあゐ

○北右野　名四ゐんふて中ふ
こゐの景ふ〜〜ゐ〜〜ゐ　○狛　伝ふ〜〜
伝ゐ

目代　民　目付　留主居　奉行
身　某　私　地頭　門主
擦守　門守　花百　山姫　宮山
拾得　俗坊の官名　釈祖師の名　俗官名
苗字　守の字　師　医師　仏師　鋳物師　是ふ之
老　功老　使老　医老　仏老　絵師　塗師　猟師
文老　筆老　儒老　効老　ゐ之
ゐふあ〜〜び　ゐの外教
多ゐゐるもの　器之
居所の詞　三句去三句つゞく
一句ふてもすてる
この類一人ふゐ〜〜び藝名ふ
通ひ呼ふゐゐゐ八行れも人

せ〜ふ　○鹿背山　○瓶原　名　○名物　織物
陳物　○ふ物　○白物　○木の芽づけ　○くふふまの芽
づけ　○ふふよ　○栗　くふま大ふ　○ふ伝
○牛房　ほり川八〜〜　○飯ト柱村　○竹ふ　ふ
村ふ　ゐ村ふ　ふ月ゆ　ゐ〜〜　ゐ八　ゐ　ふ　ふ伝
○土人形　ゐ〜〜ゐ山　ゐ〜〜
○納豆　京浄村

大和

○郡山城　宮ゐ　日　○奈良　南都
旧郡の地ふ　ふ　二条二条ふの大路の名　今田野ゐ
のゐ　ゐ　三条通ふ　ふ　街ふ　ふ伝

○木辻　傾城町　○春日の里　○春日の社
三笠山の林下　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ
ゐ名ふ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ
ゐ

古七堂 ○壺囮 山川社 ○彩詩囮 ○三宮山 ○苗麻古 ○遊磨古 ○片岡山 ○吉野 山川里 ○金の口嶽 ○千本搖堂 ○吉水院 皇居 ○踏ぬけの塔 ○小笹 ○とくの清水 西行庵旧址

菜つみ川 ○筑紫の社 ○上市 村 下市 囮 ○六囮 ○大峰 ○十津川 ○天川 弁財天の社十 ○釈迦が嶽 俗ふ一ふ 上四合目 三尺山 三上

八人峰山 ○葛城山 ○三輪 ○志貴の杉 ○佐の口坂 ○泊瀬山 ○泊瀬寺 ○椿市 ○布留の社 ○石上 ○有原囮 ○畝火山 俗ふ

弱雲川子の日ふ信右ようり ○吉久山 ○耳ようり山 ○蓋坂古 ○ひむろ山 ○名倉 ○千早の城跡 ○布忍川 ○生駒山 ○土師の里 ○乃口古

非山類詞

吉野 三囮 氷室 山梨 越路 仙人 山地 蓬ぶ杜 苗囮 滝川 山桃 杜人 滝路囮 山姿 滝津川 岩田川

裳 袖 裾 衣紋 裄 袂 惟子 紙子 衽 襟 布子 罩物 袖口 浴衣 産着 羽織 褄 衣服の詞 二句去二句つゞく 一句ふても捨る 小袖 衣裳 襦袢 白妙垢 被

衾 寒衫 奴袴 白絃 袍 大口袴 襦 小口衣 緇袴 緋袴 宿直衣

非衣類詞

襁 襷 葛袴 居士衣 袈裟 上下 肩衣 俳切 水旱 水衣 十徒 篠掛 立付 襟巻 掛布 帽子 紙羽 脚絆 股引 頭巾 足袋 足股 羽衣 三尺手拭 法被 袴 裾袖 裾 袴 褌 喪服 衣喪服 素韡 喪服 褌 喪服 褌 喪服

右官服祭服僧衣喪服礼服ホ平生著用せざるもの皆非衣類

水辺の詞 三句去三句つゞく 一句ふても捨る

海 流木 浦 渡 川 江 池 沢 堤 瀬 溪 淀 沖 磯 江 泡 水 浦 浮木 淵 崎 津 浪 筏 沼 杜若 渕 島 櫂 網 筏 流 溝 井戸

名仙郷多く。宮安。里。姥ヶ火 宮安の辺平家の
ものがたりに見ゆ。平岡の社。閑上侍 あるいは
大坂へ行。六聖 天の四聖猟
一説村より十丈。牧方 麦うりあり
芋くいんう年がら
よぶ

和泉

○岸の和田 城比地より三里へだて
佐野とよぶ。食屋
鯛といふる豪家一軒
あり世人多くあつまり。牛滝 名(山名)
て山里八幡名百ふ
映して朱をぬり。蛾 蛾のうろ〳〵槽鮒名産
魚多く毎日大坂へ
たる比地桜河あり。あくれ松原

海士 海女 貝類 漁の名 萍 藻 海火 蛇篭 須磨 明石 釣具 魚の名 水屑 濱荻 松島 菖蒲 船の名具 辛崎の一ツ松 蓮 非水辺の部

天の浮橋 麦の浮橋 白川の関 月の出汐
宮の八角 雞皮 泊の淵 鄭の玉水

鵲の橋 三瀬川 天水 干貝 布曝 志賀の松 かなひ川 岩船 氷柱 苫屋 于魚 砧水 蓮の上への契 苗代 田 陸 玄の池

月 夜分の月 三句去三句つゞく 一句ゆゑ
星 曙 霄 暗 箙 蚊 嵐 棹 鮫 炬 地 晩 日待 七夕 撰雲
棹云 張河 明星

今あの五町とよぶ。蟻通の社 七ヒさ玉の故事
又芳之源宮のもの
あまわく人
の多るあり。あんびき名 せ之在
もしとびて津吉の非社ふ。大仙陵 仁徳帝
婦人乳のきさらんをうくる
さありまつりハ嘱ゆて多くうあるさとく多〳〵
ひとび筆初こは おあくて趣山の地とよ
○目口町 伝者は秩ふ
秋を偽るあ。狗狐 少米ちの
墨ヒ庭の伝伯多るのおるうあり
つりさうわのれ公はちとうおこう。石津 石津川
布さふ伝ふ又伝。吹飯の浦 梅ちとう丁
ぐりちをもりあ。
○一路庵 一路上人八ヒ庵の伝ん
ものと泊伝ふ
産伝名
船杉名島
ありあり。妙ふち 大ようる
そくう

ありきさひの。水間寺 くらん寺の是地二月
初午日ひんしゅ
川ふて名のごとく
なるち地なり。伝大歳 子数の梅ふ
分ふ孫伝今ハ
庄在の在ふ之葛ハ
くくふ。橋時るもくふ
○當麻名物 孫姫。出家庵丁 ひ方庵丁
ハたむこ庵
名あり。

拾遺

○住吉 里 住の江 住吉
岸の眼杉 反橋 比地西八海
おハちしま八西之
○住吉の社 社務津吉氏
宮人分
○住吉四所 住吉の市 去撰舎とも
ふ五月廿八日
○四宮の市 去撰舎とも
ふ北庄引まとて

稲妻 弦灯 猪川 行燈 初雞
覘猫 棹多 燈篭 挑灯 燈灯
紙燭 燈篭 蝋燭 短檠 手燭
假棹 石眠 狐著 燈明 逆火
衣く 深夜 化物 幽灵 狐炎
辻灸 夜多嫁 蚊帳 篝の枝
博士の焼火 星をこなふ 暗入 住吉の市
星月夜 名ふのとき
夜分ふあ
追儺 鬼やらひ
市とも
ふ

余食を寸ふ多多とい
外ともめくへ又
于 三月一日ころ十日ぐらい。
元三とは七日ころ
俗うりの星と云季
ものの
時は里より
ひさくもの多くすめり。
○亀里小町 亀
○阿弱町 ちふハ
中秋散 ○狩場明 ○雞波 ○天下茶屋
○深草 ○天王寺 荒陵山
伝法院 ○天王寺の大仏殿
白ものひより
ひきあり名ふ
○石の鳥居

除夜 大みそかをふ
鐘 非夜分の部
芦火 伯 電 砧 虫の夢 三日月
篝火 今日の月 弱の月 明方月
篝火 昼の月 暮の月 篝火
幻 夕月夜 有明入 残月
余ハこれふ準〳〵知るべし
食類の部

○六時堂 ひのの後の方宿をふ
天王寺牛市 毎月牛場宿とふあり牛の價定るときハ牛おまを
かまへむかをを 後撰とよく
○天王寺蔓青 遠近よりあるうめ〜名物
たり
○生玉の社 ○高津 ○高津宮 名物
の皇居の地あり〜くるき泉の
山裾ふもとあなり
ゆ〜〜ふ〜〜ん 他木なし多し
○唐茶町 安部 ○新町 遊女
まち〜〜の非殿ふ引くり遊女の
用格あり扇なを絵ふ扇れくり
○栗
庄 特所ふおとれ〜大夫
きり名 天満橋 ○天神橋 八軒家
○砂場 ○八軒家

食物と 飲物と 品類りて 二句去二句づく 一句おそも接る
旅舞の詞 各類りて三句去三句づく 一句おそも接る
門出 餞別 乗掛 軽尻 補堂張
駄賃 木賃 跡付 木陣 旅籠屋
出女 駄賃 泊女 宿屋 川留

生類の詞

虫と虫 鳥と鳥 獣と獣 同生数 三句去二句づく 一句おそも接る
虫と鳥 獣と虫 鳥と獣 品ろハりて八二句去 何れも三句ハづく

友そ〜の鳥南の浦ふ在ハ形ふ合形もうるふ
代ふの通ふ引ふ〜とこもうる事をあり
○難波橋 河源の橋 ○四条橋 ごの
名橋とふ名木ふる月の橋ふ
橋ふあふりて名ふくり ○北浜 中
市一の米市あり ○堂島 ○蔵根橋 ○島の内
この橋ふ橋を白人と云ふ事や事 ○難波
あり 蔵屋敷の神を中市とふ
新地 河源の地又角力場なり 座敷場
ふ〜ぎ ○千日寺 大仏 ○座摩の宮
あり〜〜 ○茶臼山 ○今宮 恵比
六月廿一日祭礼 ひしはを事
浜 二月十日 ○江口の里 ○四この島
くんじ

摂津の詞

木と木 茶と茶 同う入物三句去 一句おそも接る
木と竹 竹と木 ふ〜〜りて八二句去 しれも三句ハづく
不宮不低 摂津 木ふも茶ふも味ふも 二句去三句ハづく
萩 槿 茨 荊 葡萄 木瓜
牡丹 拘杞 山吹 卯花 五加木
書籍の詞 二句去二句づく 一句おそ〜〜
文字の号 書籍 文書 絵 巻紙 筆 硯

天王寺 ○蛇川 ○那西
〜〜の名 那西川辺ふ高村
ふ〜〜ふ〜〜ふ〜〜ふ
〜〜橋のちをあり橋ハ
〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
○三つの浜 ○難波の里 名木の橋入口
橋 ○難波 ○尼ヶ崎 ○大物浦 西
川ふ通路 ○逢橋の杉 尼ヶ崎
橋の水 門 ○伊丹
造酒屋 七月廿三四日 宮大とて
をあけ おとりあ 祭礼をひき
人ふえ せ〜む 〜〜〜〜
十日夫 四月 ○西宮 ○兵庫 築〜ま
十日夫 四月 祭礼 ○湊

墨 硯 反書 手習 朱引 帳書
状 手紙 文 巻章
火鉢の詞 二句去二句づく
炬燵 灯 炉 巨燵 火鉢 炭 竈
等たり 余ハ準して知るべ
風鈴の詞 二句去二句づく
風鈴 扇 団 吹 芦の葉 そよぐ ふ也
余ハ準して知るべ

川 横ふ成 討死の
ふ石碑 ふ
の里 あ〜やの ○布引の滝 生田より ふ山
○生田の森 浦川 地海社 摂 麻 ふ
の橋 ふ ふ を 対 ふ ふ ふ 之
○須磨 里村 町浦 行平の松 それ松 ふ
ふ ふ ふ ふ ふ ふ ふ ふ ふ ふ
上三里ふ 摂 ふ ふ ふ ふ ふ ふ ふ
接衣 ふ ふ ふ ふ ふ ふ ふ ふ ふ
後撰 ふ ふ ふ ふ ふ ふ ふ ふ ふ
ふ ふ ふ ふ ふ ふ ふ ふ ふ ふ
○後京 日数の地 ○廿戸 ○
○廿戸 ○ふ山 ○ふ山
○ふ山 ○ふ山 ○ふ山
○ふ山 ○ふ山 ○ふ山
○ふ山

○鉄拐峯　ひようごうこへ八この
ゑけれすまの上郡大内
あるこ二の谷三の谷あり　○一の谷　ねこの谷大
坂より八里
○温泉　大阪女小阪女とふた酒口立うりて入
酒のてあをたゝ或格をたゝこ（て酒口
のこをこゝこめれくとのしを或ゝうけ元ゝ
今ゝこうこひて色をもよ山ゝあくるおどりあり
ぶしかど云廣先々此酒の冒あり紙にして酒女
八十四もより冒をとりてふかねてつは者もあ山て
ちすびて盛をさこも男持こも服をたゝ酒入のさゝく
酒女きこゝうゝ人々ゆあり也ゝあるもひと云名角牛
面二人形
○姫湯　女天狗して立れバ長きあるゝ
ともひろゝ也ひて申れバ
ゝくこも
云傳ふ
○鼓ヶ滝　たきの者山口ふひ
つゝこのあしふこゝ
○有馬の富士　けゞ仏元形の
山なり
○巽面山　巽面

ちゝ矢先天の足地巳月とこれつくこゝ
をのゝさゝ多ふ巽先年とうち出の間之
京より四忌へ
○木代村　往昔鈴ふ門大まと云
ゝうこゝどゝ
ものあり毎年麦子
のもちをゝ個
ものとゝ
○往名野　小山西ゝなゝ
おあ山あを川ともゝ
さゝゝ雲ゝ
およこゝゝ
はくこゝ
うもも
○芥川　往昔鈴ふ門大まと云
ものあり毎年麦子
のもちをゝ個
ものとゝ
○昆陽の池　堤ゝさ
つゝこ
を〜牧方　宮ゝゝあたゝ
雲ゝゝ
○上野　城　○名和　花
○阿波　大仏　○花垣の庄

伊勢

○素名　体
ゝこゝ仏ゝ七里毎
ゝこゝ仏ゝ七仏
ゝこゝ仏ゝ七仏
ゝこゝ仏ゝ七仏

○掃部川 ○河潮浦 ○小田の湊 十一月十五日 ○豊川 ○白子 ○松坂宿

○蘭念仏 松坂ハ近き使和歌大唐の三ヶ所にて蘭を多く作る 七月十七日まで夕くれより 里の男女れを こゝに念仏をとなひて村中をあるくを蘭念仏とハ和町念仏ともいふ

○生の浦 梨名宿 ○四日市宿

○枝つき坂 ○石薬師宿 石やくし 在宿の名と

○関宿 殺原のせきの旧跡 せきの地蔵堂なりをこゝ ○土山宿

○山田の宿 山田橋のとさ用ちふ 以国名 ○万金寺 ○ちのう ○海老 ○くぢら ○鯉 ○日蓮

菜○川上茶 ○たをこ入ほうすり ○松ざかしま ○花井城主 ○しまみ ○ひのあべ

志摩

○答羽 ○日和山 ○答我島 ○菅島 ○仔良虞が磯 ○名島 ○浦の答

尾張

○名護屋 ○犬山 ○熱田の社 ○澤島の社 ○笠寺 ○萱津の里 ○星崎 ○鳴海 ○あつた ○穴生 ○笠寺の里 ○名古屋の濱 ○阿波手の宿 ○名古屋 ○赤坂宿 ○池鯉鮒 ○別不村 ○名古屋 ○八橋 ○冬量寺 ○鳳来寺 ○芋座 ○田原 ○宮宿 ○矢矧 ○矢矧橋 ○八橋 ○吉田 ○橋須賀 ○可睡城 ○秋葉寺

茶 ○川上茶 ○たをこ入ほうすり ○松ざかしま ○花井城主 ○しまみ ○ひのあべ

志摩

○答羽 ○日和山 ○答我島 ○菅島 ○仔良虞が磯 ○名島 ○浦の答

尾張

○名護屋 ○犬山 ○熱田の社 ○澤島の社 ○笠寺 ○萱津の里 ○星崎 ○鳴海 ○あつた ○穴生 ○笠寺の里 ○名古屋の濱 ○阿波手の宿 ○名古屋 ○赤坂宿 ○池鯉鮒 ○別不村 ○名古屋 ○八橋 ○冬量寺 ○鳳来寺 ○芋座 ○田原 ○宮宿 ○矢矧 ○矢矧橋 ○八橋 ○吉田 ○橋須賀 ○可睡城 ○秋葉寺

雑重 代物 内来 行 中風 人の目 一所目 付字の変

家と家とハ折をきゝふとゝ家 家土産 家格 家の子 家の内 三句去 朝 日出 星 星の目 乾 乾魅 雲

賦物の支

紅梅 紅梅花 紅 黒 蛮奴

ぶとこ四保三年丙戌三月十六日於花咲文の定のうち

面白くもて遊びたり花盃とハ殊なる文句の

生の命の元ゝ

何無梅何と元べしとハ 花瓶 盃 盃と 梅盃と通ひ例云ふ

きゝふゆゝ 蜻蛉と元べしとハ 蜻蛉と通ひて変

上字 上紙と 下字 何と 時 下紙と

一字 顕 香を 蚊と 二字反音

三字反音 砧を 狸と

三字中略 孤を 杵と 除扁 添扁 借音

余ハ古書ふゝ〜けれハ略ス

月の部

百貫 七つ 面 宛 月と 月 五月去

秋七 ○味方原 ○高師山 ○見坂 ○橋本 ○天竺川 ○宍名の橋 ○佐野の中山 ○池田の里 ○日坂の里 ○蓁川 ○蓁坂 宿 ○荒井 ○名取

月次の月の字 月は日は星は夏は越を 月は弥生 月次の月 月は夜の字訓は白 月は姨捨又 月は月代 月は夜の字訓は白 月は月夏付べ 月は月夏付べ 月は月夏付べ

○生沢川 稗畑川とも云ふ 堅目石 ○かひの白根 ○弱が嶽 ○農多山 此山の型名の形のごとく みきゆるときを田植の旬とす 弱のさけハ生ざるとぞ ○湯折の宮 ○鶏内 細谷 ○岩岡 ○猪沢 梨名和 ○三日市 柿をかれ ○打栗 甲府

○名物 甲州到 ○葉地 ○独活 ○名物 甲州到 ○葉地 ○独活

伊豆

○三島 宿 ○三島社 名の字十一月せう生 きん所の地 ○八丈島 古名云 女護の島とぞ ○千貫樋 しゆの石のあ をすりべとる ○ふくぼ 此辺ぞ

○名物 八丈一 三ーまこぶと

相模

○戸塚宿 ○羽沢宿 上人のち爰 ○雨降山 大山不どう 石名の社 ○馬入川 ○平塚宿 ○徳越原 ○宿河原 ○大磯宿

○小磯 ○略立沢 ○小保袋の磯 ○早川 ○足柄山 ○竹の下 ○栢沢 ○八重山 ○名古の里 ○汐匂川 ○小田原 ○風祭 ○長興山紹大寺 石ぐん 三百階 ○早雲寺 ○宝乗寺 ○箱根山 ○畑 ○さいの坂

○湖水 ○かしの木坂 ○白水坂 ○二子山 ○尉が島 ○田実所 ○山中 ○謙信山 ○柳の都 ○南比々浜 ○弱が宮 ○空の下 ○段蔓 ○坐不冷 ○荏柄の天神

花の文

茅旦也 西花之 花白 西花ふあぶ 花の数 花餅 花の袂 花の袖 花びら 花の袂 花の袖 花の袖 花の袖

○土の宰　大塔宮日蓮宗法華経　○滑川　まち　○鳴月堂　○小袋坂　○建寺　稲荷社の額の百貫と云　寝釈迦　又ぢりふせぎ　八七月十五日　○六郎見　ろくろ　つるゝ　○松ヶ浦　○東菱寺　尾ち俗ゆけ　○象見寺　禅宗　○源氏山　紀ヶ谷の宮山　○菱ヶ谷　菱谷百子あり　○扇ヶ谷　佐竹の紋の畦あり　○月影ヶ谷　○阿仏尼屋敷　浦近き山中　○蛇ヶ谷　○鍛冶坂　○假粧坂　坂ノ下名　○天狗堂　○稲荷川　○谷　谷村　札所　○星月水の井　○極楽寺　切通し　○稲村ヶ崎　○七里の浜　○稲越　○固瀬寺　義経宿　○鎌倉　○岩本院　妻戸の上の坊　○児ヶ渕　○光明寺　十月十夜

花頂山　花川戸　花王　牡丹　花の面影　同上　花の隠逸　花の兄　梅　花の姿子　蓮　花の宰相　芍薬　六ツの花　名と　睡れる花　海棠　未開花　紅色　花ゝ　錢の異名　花ゝ　紅のうゝ色　いろは歌を不於菜

いとけなき　いとけなき　いとけなき　

○石川 [illegible] ○石川坂 石川より [illegible] ○石川沖 [illegible] ○東海寺 [illegible] ○水月観音 [illegible] ○海晏寺 [illegible] ○陰側 [illegible] ○鈴が森八幡

おひぶり一をふやうたる　おほとあぶぶ一禁中のともし火　ひとはといふ詞 [illegible]　ひとふはやく一おこりのとなり　ひれりのけしさ [illegible]　ひすれば一落葉をいふ　ひろふだ一位しきまの病名とも　ふ 三句去　ふ一ふ 二句　ふろ雑げふ [illegible]　ふり一ふ一ふ [illegible]　うたこれ時一弱三句去　かいまろん一ふきよう [illegible] 姫 二句去　うこうつく一一羽鳴ぶぶ　うちもり一一藻山あふぶ [illegible]　かりほり一蝙蝠なり　うらうし [illegible]　かきのとう柿ふ

玲瓏 ○荒蒲の侍 [illegible] ○大井 [illegible] ○大師河原 ○川崎 宿名 ○鶴見 [illegible] ○生麦 村 ○非人川 宿 ○程ヶ谷 宿 ○杉田 村 [illegible] ○麻布 ○白金 瑞聖寺 ○恵比寿 [illegible] ○渋谷 [illegible] ○長者丸 ○目黒 [illegible]

あぶぶ [illegible]　よすう一たとりをいふ 仮畳　よほち一[illegible]　よみぢ一めぢとの [illegible]　よこをう [illegible] 中山之　よんのおとく一天子の [illegible]　たとる一たどりく 折去 尋　たりふ 出の [illegible] 一[illegible]　れり 二句去 [illegible]　れんめん 云何 [illegible] 二句　ゐこ 三句 [illegible]　そと 云ておて 二句去　そとぞ 二句去　そのくみ [illegible]　そと云 [illegible] 三十四十六十 [illegible]　そのあくつさ [illegible]　そう川 [illegible]

○祇天寺 ○九品仏 [illegible] ○池上 [illegible] ○平川天神 [illegible] ○山の壇 [illegible] ○四つ谷 ○内藤宿 [illegible] ○成子 [illegible] ○角筈 [illegible] ○渡橋 [illegible] ○水車 [illegible] ○中野 [illegible] ○井の頭の池 [illegible]

西 [illegible] ○塩釜の井 [illegible] ○武蔵野 [illegible] ○柏木村 [illegible] ○川越 [illegible] ○聖堂 [illegible] ○伊勢の水 ○牛天神 ○赤塚の水 [illegible] ○関口の車 ○稲田 村 ○雑司ヶ谷 [illegible] ○目白不動 [illegible]

おひぶり一をふやうたる　おほとあぶぶ一禁中のともし火　ひとはといふ詞 [illegible]　ひとふはやく一おこりのとなり　ひれりのけしさ [illegible]　ひすれば一落葉をいふ　ふろふだ一位しきまの病名とも　ふ 三句去　ふ一ふ 二句　ふろ雑げふ [illegible]　ふり一ふ一ふ [illegible]　うたこれ時一弱三句去　かいまろん一ふきよう [illegible] 姫 二句去　うこうつく一一羽鳴ぶぶ　うちもり一一藻山あふぶ [illegible]　かりほり一蝙蝠なり　うらうし [illegible]　かきのとう柿ふ

秋之　つじ 七句去　ふり八 [illegible]　つん [illegible] 二句　つぐれさ [illegible]　つく [illegible] 四一 [illegible]　つくもぶく一 [illegible] 老 二句去　つとしふて [illegible] 二句　ふり八二 [illegible]　つ [illegible] 句　ふり下の句 [illegible] 一上の句 [illegible]　ねぶかし 風体之　ねぢけ人 一偏人の [illegible]　なふん 七句去　ふり八 [illegible]　なれ [illegible] 二句去　なよひり 一やはらかなる [illegible]　なづさへ 二句 [illegible]　なし 七句去　ふり八 [illegible]　なる [illegible] 二句去　なよひり 一やはらかなる [illegible]　なづさへ 二句 [illegible]

そこなふ すでなふ成の [illegible] 下知の [illegible] 同じ [illegible] 二句去 [illegible]　らん 二句去　ふり八 [illegible]　らり [illegible]　らん 二句　らめ 二句　二句去　らろく 七句去　ふり八 [illegible]　られ 二句去　らうし 一きつくをいふ　らうこう 一いとをしみいとをしむ　むへ 一さありとおなり　むくつけき 一[illegible]　むさくび 一[illegible]　むくつの関 [illegible]　うらうと云詞 [illegible]　浦 [illegible]　うち 此詞三句去 [illegible]　うたがいこ 一男女十二三 [illegible]　うたがい松 一[illegible]

世非 そむかず

○宮田 ○戸山 △非田の社 非田氏はこれ[illegible]

○阿為天神 お為 [illegible]

楊子師 ○東獻山 寛永ち 上野に [illegible]

阿弥陀堂は二堂七俗ともいひ [illegible]

と云ことなり [illegible] 北くらへ ○西大師 毎月

三日十八日 ○渡田池 四月三日大雲の [illegible]

あり 街へ小路 [illegible] 西

[illegible] ○車坂 [illegible] 下谷へ [illegible] ○屏風坂

[illegible] 下谷金杉へ ○不忍の池 [illegible]

[illegible] 中島 [illegible] 天

[illegible] 向ヶ岳 [illegible]

○根岸の里 [illegible] 又[illegible]

[illegible] ○[illegible]ち

祥寺 [illegible] ○日暮の里 ○[illegible]の富士 [illegible]

社六月一日 [illegible]

名物麦 [illegible] の地 ○吉祥寺 祥寺 ○王子村

○金輪寺 [illegible] 五[illegible]

[illegible] 七

○稲荷の社 王子村 ○飛鳥山 [illegible]

○[illegible]山 ○嵐山 ○柴井村 [illegible]

○巣鴨 [illegible] ○戸田川 [illegible] ○板橋

宿 ○熊谷ち 宿 ○秩父山 [illegible]

△[illegible]橋 [illegible] ○[illegible]

○荒川戸 ○宮戸川 [illegible] ○[illegible]ち

祥寺 [illegible]

[illegible]の市 [illegible] 十二月十

七日十八日 [illegible] 五[illegible]

[illegible] ○[illegible]橋 ○三社権現 三月十八日

[illegible] ○姥が池 [illegible]

○[illegible]の市 [illegible] ○東本願寺 [illegible]

○日輪寺 時宗 ○廣徳ち 下谷 ○祝宮ち

祥寺 [illegible]

万年山 ○[illegible]橋 [illegible] ○箕輪 [illegible]

[illegible] ○正灯ち 祥寺 ○大音ち 浄土

○[illegible]古系 [illegible]

三月中の丁 [illegible] を [illegible] 七月とう

山 [illegible] ○衣紋坂 ○日本堤

○[illegible]橋 三[illegible]

[illegible] ○山谷ほり 宿 ○待乳山 ○[illegible]茶屋

○[illegible]先 四[illegible] ○千住 宿

○虎が坂 ○[illegible]村 十[illegible]月 △両国橋

[illegible] ○回向院 ○弱止橋

○[illegible] ○[illegible]池村 [illegible] 社 ○牛島の社

○弘福ち 祥寺 ○[illegible]ち 住[illegible]

○牛島 ○ち島 茄子業 ○木母ち 天台宗 [illegible]

うつ[illegible]一 [illegible] 心 三有去

うけえ一のろふ 呪詛 調伏 [illegible] うれさき [illegible]

愁 [illegible] 去 うつし ふるさと のこ [illegible] 為りハ [illegible] 去

のろし 一 戦場の烟 狼烟と云 くれと云 [illegible] 為りハ [illegible] 去

くもの [illegible] ふるまひ 一 [illegible] 舞と云 くれも [illegible] 一 呉[illegible] 織女

くれなゐ [illegible] あげの花 一 [illegible]

やし [illegible] と云 [illegible] 二有去 為りハ [illegible] 去

やし [illegible] で 七有去 為りハ [illegible] やし [illegible]

やよと云てふを 二 それらと云 [illegible] やまあいの袖 [illegible]

[illegible] やまあらし [illegible] [illegible] 一 [illegible] 去 為りハ [illegible] 去

まぶき [illegible] 早 三有去 まゆ [illegible] き 一 [illegible] 眉の [illegible]

[illegible] [illegible] 一 [illegible] 人の [illegible] [illegible] 一 [illegible] 名 [illegible] 巻 面去 まする [illegible] 一 十すの [illegible] 去

[illegible] 一 十すの [illegible] 去 為りハ [illegible]

[illegible] 一 [illegible] 去 為りハ [illegible] 面 [illegible] [illegible] 去

[illegible] 一 [illegible] 碁の助 [illegible] [illegible] [illegible]

[illegible] [illegible] [illegible]

[illegible] 一 [illegible] 心 二有 [illegible] 三有

[illegible] 花さけ [illegible] [illegible]

[illegible] 一 [illegible] 花 [illegible] 枝 [illegible] 去

[illegible] 一 [illegible] 花 [illegible] 去

[illegible] 一 [illegible] 葉 [illegible] 一 [illegible] 姫 [illegible]

[illegible] 三有去 下の句 [illegible] 云 [illegible] 一 [illegible] 云 [illegible]

[illegible] 云 [illegible] 二 [illegible] 一 [illegible] 去 [illegible]

[illegible] 一 [illegible] 去 [illegible] 為りハ [illegible] 去 [illegible] 三有 [illegible]

[illegible] 去 [illegible] 一 [illegible] 去 [illegible] 去 [illegible]

[illegible] 一 [illegible] 去 [illegible] 一 [illegible] 去 [illegible]

[illegible] 一 [illegible] 去 [illegible] 一 [illegible] 去 [illegible]

[illegible] 一 [illegible] 去 [illegible] 一 [illegible] 去 [illegible]

三月十五日 大会仏事

○偶田川 船倉を 祈会所

○倭漕川 鯉 ふな

葛西 菜

○平井聖天

○木下川 茎

○吾妻の森 蓮理 くすの木

○梅屋敷 梅

○亀井戸天神社 今亀戸と

○羅漢寺

○永代橋

○佃島 住者の社 茂あり

○深川

○八幡社

○富ヶ岡

○永代寺 ○永代寺 ○三十三間堂 大矢数

○長谷寺 観音

○水坊 材木 ○扇橋

○霊巌寺 浄土宗

○霊岸寺

和和二ツ目 二ツ目橋と云

○女木沢

○中川 中洲の和

○舩橋 武辺引舟あり

○宇喜田 武辺と唐武又ときいう武辺引舟

○渡 今ハ橋あり

○萱場町菜師 毎月八日十二日くんどあり 接木売物 ○鉄炮洲

○魚籠坊 中川 元船 未詳 横会 見かこぶ 横浜 松中納言 佃沖 天王洲 ○蛍 根蓮 ○杜鵑 ○蛍 十番の川 ○月を愛る池

○虫

○亞 向

ゆるすことゆたかなり

ゆたかみ 一撥の四季 やしなうなり

ゆすと云 琴の糸 押すなり

ゆすと云て ゆすを 二句去 ゆり八句去 ゆり 詩 ゆり八句 ゆるゆる 二句去

ゆくと云 面去 めきて めらしあり

めさし 一撥士の拍 ゆどなり

められ せず 一日もさきに 延る

めりる時 一去

みと云 二句去 さむ〜 さきこ之

ミてゞ 一撥を いのなり

みつ方 七句去 つゞめ けしらる ねん 七句去 ねんの数 ねん 七句去 ねんの

して 二句去 する せて 二句去 せて 二句去 〜ゆり 二句去 ゆ中 五て 二句去

ゆきまき 一雪を吹立る 雪なり

ゆきほなし ぬ虫 一の逆 近江おの

ゆきぐなし 智 一名の名ぶり 明をいのなり

ゆさと 一名の名ぶり 清士筋と云

ひさうと 一雪をいう 久方と云

ひきいれ 一名手 根を いのなり

ひたすら 一撥のあと

ひもろぎ 一撥のあと

ひたふる 一ひとすふ なり

ひちて 一あり ひてる人

ひもろぎ 七句去 ゆりハ句 ハなし ゆり もせと云 一型とも せたもせあと

もしほ草 一雪のあとを つみなり

ものろへと 一ぬかさこ なり

せられ 七句去 ゆりハ句 せる日 せ 二句去

せう 二句去 する 二句去 して 二句去 せな 一夫のすを つみなり

せてん 雪去 ゆりハ句 すなり 日 する 二句去

せて して せ 二句去 ず 二句去 ふのぬ 山雪

すゝ と ふ句 五句去 ゆりハ句去 十ゝて 二あけまる すを 山

ずし 一あなどり おちをふ すさび 二慰 七句去

すさめず すさこぬ おゝく 山信

文字 七句去 訓 考り 八り 青去 草 編 独 木 三句去

二文字 画 訓 吉 砂り 七句去 三の字より十の字まで

二の字と日 百千万 各句去 訓 考 砂〜 画去

妻 字も 季も 五句去 四季 各日 月

恋の字 四句去 非 悪 悪の字 八 画去

月 七 五句去 月次の月の字 三句去

花 四句去 花の字 八 三句去 咲る花 考 咲 恋 咲 水 夫

咲る 考 咲る 敬 敬 咲る 敬 敬 咲る 敬 敬

同和

上総

○阿須波の郡　孫立すち人氏郡なれ栄さして形ふる延中のあすハの神ふ小栄さし　○東金　亦名

○木更津　むつさん　豆新未もつも　○千種の浦　○黒戸の浜　○天神山　○鹿野山

○岩柄山　○黒砂山　東栄の海へ入ふ　○小田花　朝名　○古永村　日本武のそるの比　永者〜ふ

下総

○関宿　城　○佐倉　同　○結城　同

○古河　同　○許我の浜　○飯沼　弘法寺　十八ふん

りんの郡　○坂東太郎川　栗橋と中田のさらい川をゝか　○小金の原　牧の駒　牧士の家名〜　十月巳（ゆとりあ）　○猪苗代の池　○鹿庫の浦　河川そひ柳　○揖取　地名　○香丸の社　○かとりの浦　尚

○鼠子　ミちのくの国ふ縫細すぎ弱鮭　寅ふとりて来る（初月日ふ）　○四天坊　ちくま　尼ふの

六月十二日十三日の比　汐子　十三日ふのれあり　どく　弦ハ猫ふ似て皮ふ毛ふ影をあ比ハ

人ふどちくこれ（三才図会）ふ和漢和名類ふ　○生の間の入江　ふ　○徒橋　同ふ　○子兄

名　生の万の女（万葉）　○弘法寺　日本ふ六名寺　栃あり

小鷺　初鷺　荒鷺　山別秋

鷺の名所　那と鷺　もやれ鷺冬

四季　貞富

ゆ春ハ曙ハ空霞ハ立ち薄ハ立ち　ハ春ハ月ハ花ハ雪ハ月ハ花ハ

ハ春ハ月ハ花ハ雪ハ月ハ花ハ

ハ春ハ月ハ花ハ雪ハ月ハ花ハ

寺 大津の宿のあ〜墨塚と云上ハ岩ばる山なり孫安ゆり上りくると云陸あり六月十四日頃礼の納れを焼捨る七月十六日女の参詣をゆる事 ○鬼子母神 四月十六日とんど千なる千ざんどゝよ ○石山寺 くるんぜ寺の見物 湖水のながせ寺南ふあくる寺或アともり在て ○栗津 松原 義仲 ○粟田 ○打出の浜 湖の入ん 石山へ順路 ○粟谷 ちせくとゝせくの里 ちせくとゝせくの里 ○長谷 せくと石山の習四月下旬のころ雪なびさ 雪てちる日を待て ○勢田 ○志賀 浦山 花の名 ○唐崎 里〜 ○堅田 ○浮出芝 千体仏 恵んの化 ○湖水 びわ湖

二字切

わろ人ハ花ふ服ん風も なし

三字切

いろは歌て何いふ事そ 星の中

三段切 三名切とも

女常男の衣裳うつゝの 尾

大まゝ

ふのせて富士の空見る 壺のね

を 岸

まくてもゆるべきものをとうかゝし

雲雨切

意味〜雲雨像を絵つゝん

切字なくて切る句あり師信なくてはすべからず

切字ふなくさる分

○竹生島 湖中の島 ○日吉山王社 坂下村 ○ひえの山 花うくひす 雪 ○延暦寺 ○比良の山 ○白髭の社 湖水七ひの 芦系（謡曲） 付教大師 ○毎戈天社 又新の ○比良の山 湊浦 高ゆり初山 ○宮腰永原 女人系詰 ○志ゝきの里 名物系 ○宮山 ○三上山 ○篠山 ○多賀村 ○多賀山 犬上山 老ものもり ○稲妻山 ○伊吹山 ○土山宿 ○水口 ○石部 ○草津 ○武佐 ○越川 ○宮宿 ○柏原 ○名物

や川ハこの山の ○摺針峠 ○醒ゲ井 岩根より ○美濃 ○大垣 ○岩村 ○苗木 ○加納 ○郡上 ○不破山 ○不破の関 ○壁上の里 ○養老の滝 ○谷汲 ○長良川 鮎 ○竹の鼻 古戦場

苗代の ○男の草 貞 ○めもり ○立すれハ ○芳 ○長屋ハ ○一鎌 ○白髪 ○公 ○白ぬ ○岩山 ○岩ゝ ○茅原 ○木

武の絵

水を返てまゝるほくる 北 吏山 ○苗る葉の ○芦 ○芦 ○万国 ○娯流 ○五出 ○巴山 ○可邑 ○柳風

○清流 日吹宿 ○輪中川 百八ヶ村きそ川ごいや米氏わよりまる日本一の土地なり ○月吉の里 今月より村日より村 ありくけの禁之月の禁と ○今泉 宿 いまあきの花ふくら ○美濃系 円 ○揖斐 円 ○赤坂 円

○名物 瓜芋素村より あり ○やそやきもの おすす紙いろ〳〵あり 地紙 ○温石 ○山梔子 ○扇ふる宮代より あり ○美小刀その外いろ〳〵 岐阜の旅籠 墨股狸

飛弾

○高山 堺 ○位山 山の檜をもて笏を作るといへり ○ふい友位ふ ○名物 ○茶巻 ○栗 ○諏訪 堺 ○諏訪の社 弘三月七日

信濃

麻七十五匹を僧(まるる) ○湖水 勇士のけをひさす狐水僧(まるる) ○古諸 堺 ○富元 円 ○上田 円 ○松本 円 ○富士 円 ○飯田 円 ○川中島 円 ○坂本 円 ○北村山 七月廿七日あり 穂系つる ○戸隠山 社山 夜も多あり ○善光寺 人口三千余の民戸 ありて夜夕詣て会仏称名 ○木曽 きそのの麻のあり あひたく〳〵 ○麻系 きそのの麻のうけ格きそのこさう 今まこめと云ふ ○麻系 伊勢のその系 八坂ふ隠る 篇ふ作る木ありむこまぐと云 ふふ あるとハ不てあへぬとよりう ○伏屋 今諸の山のすそ古し人金の鶏を ひそうせ〳〵去者あり ○交科山 なし川

大名の眼ふもかの人の八日 弘 百猿 弘 次手ふ一日 弘 一日 弘 手 弘 国の 弘 雛 芭舟 一業ふて 弘 〳〵せる 弘 柳 弘 ゑ 秋空 さらり 弘 ちち 弘 ハ 弘 ちす 弘 日の出 弘 秋 弘 大名の農具ハ菓の多の 弘 秋 弘 日向 弘 漕 弘 船 弘 ふ 弘 船 弘 ふ 弘 異 弘 清 弘 造 弘 たつ 弘 〳〵 弘 〳〵 弘 みる 弘 人 弘 も 弘 ゑ 弘 沼 弘 造 弘 ふ 弘 ハ 弘 生 弘 ふ 弘 異 弘 船 弘 定山 弘 物 弘

○円毎の月 ○姥捨山 月の名不川の白ひ月を泳ず ○明石山 ふふ泳り ○桐系 牧の約 ○壁月の牧 円 ○狭井沢 宿 ○信田吹信 せきふん 信田 と云大きなる名あり ○名物 ろた くさ その系 麻きぬ本系 ある

上野

○厩橋 堺 ○沼田 円 ○佐野の船橋 ふ ○伊勢保の沼 あやめ うきろむさ 釜 あるふを 海食 ○赤堀山 やーろ 妙義山 信濃 ○榛名山 ○利根川

○茂林寺 銀林ふ ○大光院 たんりんの内 ○善導寺 銀林ふ立 ○名物 佐の白芋 利根川の鯉 ○言傷なてたむと

下野

○宇都宮 円 ○日光山 往古 二荒山と云 冥系一の美色 なり 山谷 美又云ベトバ作石 温泉町 盛丁 れげすると 教さあり ○強飯 日光 責 ふ ○兄弟奬 佐野の人 兄弟の 産ふて 義を 教すひて 生涯の のごと ○忠義心者 ○山芝の橋 ○加まんが淵 ○寂光が滝 三夫 ぼんあ

二つ三つ 弘 滝 弘 解ける 弘 弟 弘 一 弘 れ 弘 ハ 弘 菓 弘 ふ 弘 あ 弘 じ 弘 の 弘 形 弘 〳〵 弘 を 弘 ふ 弘 ハ 弘 橋 弘 形 弘 立て 弘 月 弘 も 弘 ろ 弘 く 弘 ふ 弘 義 弘 系 弘 義 弘 ふ 弘 あて 弘 あ 弘 ち 弘 ふ 弘 を 弘 ほ 弘 山 弘 柳 弘 さ 弘 ハ 弘 も 弘 ゑ 弘 ふ 弘 ある 弘 系 弘 猫 弘 の 弘 耳 弘 ふ 弘 も 弘 蝶 弘 の 弘 り 弘 多 弘 〳〵 弘 ふ 弘 ゑ 弘 を 弘 ゑ 弘 る 弘 を 弘 聖 弘 初 弘 弘 弘 の 弘 中 弘 へ 弘 ほ 弘 く 弘 き 弘 た 弘 ち 弘 く 弘 き 弘 人 弘 の 弘 新 弘 る 弘 ふ 弘 の 弘 自 弘 枝 弘 の 弘 曲 弘 と 弘 り 弘 ふ 弘 御 弘 ま 弘 〳〵 弘 大 弘 孫 弘 ふ 弘 を 弘 ふ 弘 を 弘 ふ 弘 ふ 弘 蓮 弘 の 弘 ゑ 弘 ふ 弘 ゑ 弘 り 弘 ふ 弘 ふ 弘 〳〵 弘 て 弘 蓮 弘 の 弘 ふ 弘 ふ 弘 ふ 弘 弘 弘 の 弘 ハ 弘 〳〵 弘 き 弘 ち 弘 の 弘 弘

時交 胡統 亭松 山色 呂牛 好竹 原月 芦月

夏歯 九皐 扇風 松霞 芦陰 当秀 田葉 盛山

ちろる　○滝の尾　氷岩といふあり　夏日氷とけず

○霧ふりの滝　佐本の茂こより三ぢんよりふる滝の名きりのめくみちる　夏も寒き　○霧ふり茶　山滝の辺より

○中禄ちの湖あり　眺望を兼双　の地ちり　○黒髪山

○大谷川　けんめときのあんこ川より　やまめと岩なとゝ名多し　○室の八島　けりを　○那須野　○殺生石　むもの　あの古　す伊去為ず平　世人の　る　○標茅ヶ原　なくさの　ちりしな　系と　詠り（野古）　○伊吹山　近江国名　地名　○茂手木　○芦野　墨ゆさらい　ねてり

○名物　日光ぐん　○円せん　○うろこ　○きのこ　○つけ　○ぐり　○うつの宮　宮　田たむ　文

陸奥

○白石　○霞関　○八戸　○岩城　○中村　○棚倉　○白川　○三春　○福島　○梁川　○一関　○二本松　○弘前　○松前　○白川関　白川とゝくも川なし　山路と　○あぶくま川　○笠島　○仙台　○塩竈　○金津

柳あり　○奈古多の関　さくふ　ほくぶん　ぶ　紙合　○十府の里　とふの　なとあり　文　ちとる　蒙　ちふ　ふハ　ふを　ゆを　せて　みふみ　ゑねん　なと　詠り　なを　説あり　○末の松山　山辺　山を　波と　えん　時　ゑ　ゆを　ゆり　ろ　ん　とひ　ゆ　る　あり　今　まあり　て　ち　を　へ　き　こり　○塩がまの浦　湊あり　お　ゆの　塩　ま　ち　ちのう　ふ　ふ　ち　ゑ　陸　ま　時　ゆ　ゆ　ゆ

○冨の山大仰ち　○姉業　○絵さえの橋　○平泉　○衣の関　○衣川　○衣川村　○光堂　○津軽冨士　○外の浜　○名物

一之
竹志
鶴山
笠月
重友
竹雨
東里
友之

○立石寺　○上川　○上の市　○能因島　○牛渡ち　○むやくの関　○名物

秀竹
秋空
幸成

○小淀　○遠敷大明神

芳柳
[illegible]

越前

○後井　○府中　○九岡　○大野　○松岡　○猪山　○氣比の社　○永平寺　○荒乳山　○湯尾峠　○鯖波　○名物　○敦賀の関　○粉水の橋

原翠
峰雪
里鶴
而雄
寿保
乙牛

出羽

○米沢　○山形　○鶴ヶ岡　○秋田　○牛庄　○本庄　○羽黒山　○南谷　○湯殿山　○象潟　○牛渡ち　○梵字川　○月山

若狭

○弱の浦　○小浜　○遠敷大明神

越前

○名物　○敦賀の関　○粉水の橋

原翠
峰雪
里鶴
而雄
寿保
乙牛

○玉江 同郡江川に
芦をよめり ○三国 敦賀
越前あり ○敦賀 北陸道
○名物 昆布 茎 茎 敦賀 北陸道
○上菓菓子 三国饅頭 同往 饅頭 大蛸 北陸道
小浦 北陸道 敦賀 上野 小浦 北陸道
なり このとき
とも とぞ

加賀

○金沢 城 ○大聖寺 同 ○白山
こしの白根 こしの白根
四時ともよきえ出 ○らいの名 ○印の中
小浦あり 小浦
海浦をこえて白山 白山
○篭の渡 山川より篭を引と(て)人をこえ渡
ちかそうしきすいふとうなりとぞ
○篠ハく あさうと篠の名 篠
きよしをかみよりとぞ篠

○小松 宿 城あり ○松任 宿 古城あり ○名物
鼓の革 ○鉢 竿 ○さく 同 二字
あぶく 餅 紙 竿 川 さく 名 名
とふさ立 永木 名
とよりあり (万

能登

○のとの名山 とふさ立 永木 名
○饒石川 又ふさ川と ○名物 饒 これさし
きば 小名 名

越中

○名山城 ○砥波山 せきあり
城をよめり
こうしゃ仲 こうしゃ
山のさね名 ○立山 ぐんけの社
山のさね名 ○外坂の
桑 うさう川 外坂の杖 外坂の杖 女の男しこる
教ひど 杖 柿 ごうとうり 尾 柿 ごうとうり
○奈呉の江 なごの江 菱 ごうとうり
○卯の花山 卯の花 ごうとうり 枕 同 之
うのは 城名 里 名
(天木) あり ○こしの城 城 名

○有磯海 ちがう くう
「ありそうみ」 ありそうみ
○名物 八幡布 八幡と八幡 布
布せもつとせ より名 名

越後

○高田 城 ○長岡 同 ○牧 同
○牟庄 同 ○牧原 牧 ○牧発 同
牧 牧 牧 牧
○出雲崎 出雲崎 出雲崎 出雲崎 佐
佐 佐 佐
永山茶の茶ら ○柏崎 柏崎 柏崎 柏崎
あり 佐渡 佐渡 佐渡 佐渡
順徳帝皇居あり ○名物 名 名
帝 帝 帝 帝
○糸魚川 ○名物 名 名
山 山 山 山
山 山 山 山

佐渡

○至の宮渡 ○名物 金 金
小鯛

丹波

○篠山 同 ○福知山 城 ○篠山 同
○大原の社 五月廿八日 とて 近 近 じ
又 さ 秋 猫 猫 名 名 猫 猫 名 名
社 小名 猫 猫 名 名 猫 猫 名 名
○大江山 城名 ○生野 大江山の
日ぐし ぐし ぐし ぐし
○笛ふき山 (夫木) ○生野の里 五月の
ふき ふき ふき ふき
○名物 ○牛蒡 ○柿 ○ちまき
○柿 ○ちまき 五月 柿 ちまき
ちまき ちまき ちまき ちまき

丹後

○四辻 城 ○宇野 同
四辻 四辻 四辻 四辻

初夏のよいよく酒ふかせます　芦越
人の親笠をもてとゝのおくも　湖越
一石渡海のとき礼 礼 ゆの 吉　相直
生 生 生

○九世戸文珠　○成相　東禽木花絵　左り札所のくらん　左り堂

○與謝の海　入海　なり　○天の橋立　一東西里　南北海ぶし　ゆとこしあくしを浦ふ村くあり　人家く　あるあり　て松五へ切れ又ゆ　ゆとこうあきれ上の文珠　とよ

○水の口　宮殿左右　芦　まこも　かもめ　うこのうつはつと　(万)ふ所り　○穴生の里　分八(名家)　ふあり

○名所　餅しふ　ふ所　探系

但馬

○出石郡　○豊岡　同　○入狭山　もの　とも　麻なと　海字　○琴引山　○名来山

○むすぶの浦　宝物　名日子　つり舟　○宝の白浜

○板仕屋の浦　くきのまバすくもくりて　ちなバさきくこと

○猿尾の浦　ふるをとうぐくしふをきもの　ここふ向ひふムを投て　ふのあり　たくをこと　○名所　たり　○車牛　○出石郡　○祈ぐり　ふ外　茶しも　ふくあり

因幡

○多尼浦　○いなバ山　同名あり　○一休寺　山府　居住の地なり　一休和尚　○三角山　分　(名ふ集　ふあり)　○名所　佐さくめん

伯耆

○米子浦　○大久寺　原為和尚　の住居し　○名所　枝　くまのい　米よりあり

芦舟　馬山　万壺　友之　素石　史山　千翠　勇旭

萩八や四金も四ふを深く　ある　山童
蕪や　そ花矣の国る　弧　小路　里風
名立や　笠を　ふく　毋の　飯　素兄
物秋や　世ふ　捨ふれ　ぬ　為　袴　芦湖
ふしめや　日毎く　の　旅　ふ　立　羨多
我くふも　ふのん　や　新　あや　め　を園
お今の　時る　めし　や　下　や　き　主原
ゆ金　ふ　を　照　身　や　を　挑　灯　月峯

白ひ海　を　ひとや　いん　ふ　く　芦舟
鮮ふ　て　流　を　踏　ふ　ほ　こる　ふ　馬山
を　を　ひ　れ　こ　歩　の　ふ　や　ゆ　と　を　ふ　万壺
物　や　ゆ　ふ　く　ふ　め　ふ　そ　う　ふ　く　友之
を　や　ふ　ふ　や　ふ　の　ふ　ふ　ふ　ふ　素石
ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　史山
名　ふ　や　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　千翠
物　ふ　や　下　投　ま　く　八　ふ　ふ　ふ　ふ　勇旭
ふ　ふ　解　を　ま　ふ　ふ　雲　や　初　ふ　ふ

出雲

○松江郡　○廣瀬　同　○大社　八雲山　友つる山　左八雲山　左　中宮ふ　ふ　ふ　○佐陀の浦　この地名数の　家色なり　○同社　○上師村　同天神

○鐵の川　○杵築　名所　○十六島　の　名所　○名所　鯉　餅　鮒　友しまと　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ

○書写山 教ちふもとに女人堂あり この山 古杉老杉日の光りをさへぎる吹礼の札あり

○文殊山 同町 ○尾上の松 同町 尾上の松ハ高砂の名所 ○高砂社 高砂のまつあり

○高砂の里 高砂のまつハ高砂の名所 ○春哉村 西明石駅 ○名あり

○明石の浦 海あとも一大のあるとの称 ○梅月の松 姫路 ○名あり

○明石の浦 海あとも一大のあるとの称 ○春哉村 西明石駅 ○名あり

美作

○陣山 城 ○粟の天山 ○名あり 城 ○高田城 ○後生木 法然上人の

備前

○岡山 城 ○出明の迫門

○唐琴の浦 ○牛窓 ○名あり 海辺 ○名あり

備中

○松山 城 ○吉備津宮

備後

○鞆山 城 ○三原 同 ○鞆の浦

安芸

○厳島 城 ○宮島 ○名あり

周防

○磐国山 大山あり ○錦袋橋

○室積 海辺 ○竈戸 ○名あり

長門

○萩 城 ○赤間関 ○名あり

○和布刈の社 ○名あり

たかうけり

鐘とつ〻しかとは見ぬ果たうけり　杉窓

梅の花雪ハ帳ハ高うけり　今牛

雲間て高の花もあのりけり　芦々

あうの弱

尻高ハ山高ハ何を深とも　文蹊庵

一斤の雪ハ雪あり多千　高志

春雪すてて来る雪もあり十三歩　嵐睡

高うの弱

兄山ハすまを春うの秋の月　湖雪

すやの弱

日暮金の春ハ雪もの雪の　習谷

吹雪の弱

吹雪の春ハ何ハ雪の時雨　松石

まうの弱

明暮まを異ハ海世を深と　素牛

ぞの弱

吹雪ハ雪ひとうの雪　東守

蕪ハ何ハ雪そ　乙山

一の弱

己の雪をつもりて雪きりて　延山

流の雪の春の雪　春旦

春うの弱

秋の雪の春の雪の春の雪

虫の音ハ雪　○名あり

すこ作ること　○西

條橋

○名あり

○あ昌 ○雷門

とうう

周防

○磐国山 大山あり ○錦袋橋

日本大橋の一つ

○室積 海辺 ○竈戸 ○名あり

人里の遊女

長門

○萩 城 ○赤間関 ○名あり

山口の名所

関田の二月筆

○和布刈の社 ○名あり

して海底ハ入の名刈と聖元郭ハ神ハ名あ

雪ハ雪ハ雪ハ

○門司の関　同所ハ彼方ヤ一名めでたく文字より
せき　七曲　ハ名ハ名ハ名

○可也山　○生の松原　○竈戸山　○刈宣の関　○水の丸殿　○水茎の岡　○芦屋　○安朱寺

入日は山ふ　月は海辺より

○名所

故郷は　春風は　水岡の月ふ　麦畑　桐船

筑後

○久留米　○柳川　○善導寺　○一枝川　○名所

待をかる　春風を　頬杖

肥前

○佐賀　○唐津　○多久　○平戸　○大村　○小城　○蓮池　○長崎

○名所

肥後

○熊本　○八代　○阿蘇　○宇土の長浜　○名所

豊前

○小倉　○中津　○宇佐の宮　○彦山　○四抱山　○名所

豊後

○杵築　○臼杵　○竹田　○佐伯　○姫島　○名所

日向

○飫肥　○財逸　○縣

入日は山ふ　月は海辺より

故郷は　春風は　水岡の月ふ　麦畑　桐船

待をかる　春風を　頬杖

月を待て　白頭の　月を待て　白頭の

卯の花の　卯の花の　卯の花の　卯の花の

波光　芦雁　芦笠　松岡　貞竹　松花　桐葉

一瓶の　二人寄て　ひとりは　鶴の　鶴の

一瓶の　二人寄て　ひとりは　鶴の　鶴の

○佐土原 ○嫗が嶽明神 ○高ちほの嶽 ○きり島山

大隅

○庶児島の社 ○多根が島 ○名抱

薩摩

○庶児島 ○沖の小島 ○いとうが島 ○かくの渓 ○名抱

壹岐

○彌本町 ○呼子の松原 ○名抱

對馬

○府中 ○湊茅山 ○つしま根 ○百島 ○名抱

東海道名抱

○大木戸 ○六々 ○宿見 ○麦茹 ○南湖 ○梅沢 ○小田原 ○本市場 ○岩ぶち ○蒲原 ○蕨 ○内井 ○薩埵峠

○清見寺 ○興津 ○江尻 ○府中 ○阿部川 ○宇津谷 ○藤川 ○佐夜の中山 ○日坂 ○怒川 ○見附 ○濱名 ○猿ヶ馬場 ○吉田 ○宮 ○藤川 ○池鯉鮒 ○宿 ○桑名 ○追分 ○関 ○土山 ○水口 ○伊吹 ○草津 ○大津 ○有馬 ○七栗 ○蒲生 ○長浜 ○鳴石 ○塔沢 ○陽本 ○木賀 ○宮下 ○底倉 ○堂ヶ島 ○芦

清水寺の月の夜の八橋
たゝくと雪の日の節慶と
仝

雪を漕葛西の舟のあとの
振舞の出くらんぼう
花見の獄立見て者へ出て

歌仙

花とすゝ振くらへ出むる
貞笠

惜きさかる 雪の 机
九分の簾ゝ 見て八不自由
雪ふるて雪を出て出る
三日月の影の輝ける 簑 簑
律のゝ山 悠 蓬
雪の笠形ふるゝ 亀
住吉 岸の場を 出る
門ゝと 着とふ 蓑八 荒

貞山
好和
松仙
里川
執筆
関水
里水
松島

所 所の 雪 吹
能 不 履 雨 簡 自 摂
売 雪 月 月 月 月 月
門 出 指 ふ 姉 月 月
行 執 雪 八 の 飯 加 蛾
遊 西 海 の 海 け れ 八 八
記 さ う 笠 間 深 人 を 走 歩 行

里鶴
琴山
関柳
松仙
好和
貞笠
桐翠
里水

駕 籠 者 日 八 雪 の 歩 歩
七 も ん の 夫 の 酒 の 雪 の 雪
里 敬 繁 の 都 へ 屋 ゝ
雪 ま て ふ 雪 海 ゝ ゝ 自 信 ひ
さ あ ゝ ふ 松 ま ふ き て 松
一 雪 つ ゝ 海 ゝ さ 海 る 義 ゝ
門 を 雪 ま ふ 八 道 の 葉 ゝ ん
陸 歩 を 渡 ゝ て 方 安 別 れ ゝ

執筆
琴山
松島
関柳
関水
里川
貞笠
好夕

月今あしのゆとこ云(万葉)○熟海 伊豆南海を芦川の海とよめり 大まま和島ぬのゆ 又ゆこ名れもとれ○依善寺 月
○七湊 志摩の○祝彷 月○茅渟 上野を女しの ゆゑ入る海 八たらもも 餐ねだらて 拾の土を 保 月○那須 下つけ○湯元 奥州○山中 かいき
○本宮 紀伊○白山越 ○立山越 ○塚の 但る○蛭聖 紀伊

近江八景

○比良暮雪○矢橋帰帆○石山秋月

里水
桐翠
里川
里雀
関水
桐翠
里雀
関水

○勢田夕照○三井晩鐘○唐崎夜雨
○粟津晴嵐○辛崎雪月

南都八景

○春日霊鹿○三笠山霊○雲井坂月
○東大寺鐘○興福行人

今戸八景

○内川暮雪○称名寺晩鐘○乙
○瓢帰帆○小泉秋月○聖岳夕照

里水
桐翠
里川
里雀
関水

平方蒔雁○沖洲晴嵐○隅戸秋月

六玉川

○武蔵玉川 調布ねさしれ拾ちと詠 武川末方のさ 之名歌あり
○陸奥玉川 千賀を詠り 聖田の玉川とも○山城玉川 山ぶき堤を詠り 井堤の玉川とも
○摂津玉川 あの名を 萩を詠れ 聖路の 紀伊玉川 毒水なり 玉川とも

外国の分

○中華 漢名なり○南京○小京

○廣東 これ ふもち○朝鮮 さ葉る麻 鈴屋これを 三韓とよ今の 蒙古 ○高句麗 これる 葉を云 とも○天竺○琉球○大湾○東寧
○東京○東蒲寨○暹羅 しゃむ
○莫臥爾○阿弟陀 れもとり よ○韃靼
○小人島○蝦夷○崑崙 くんぱく
○長臂○慮帝亞 うんてん とよ○撈葛蘭
○長人国○女人国○女護島 月上
○金山海 これ ぶもち こがとよ○東夷南蛮○西

多羅てすまき牛の角みひ
本ゆ長きその月さへ沈る日の者
くくすの海る山窓の口
嫁の来て結をきれ 言葉ひ
ものをゆひ八重つき彩
丸芭蕉を猿を捜を八人もち

吐上くもの迫るまて 交せ
松仙
松島
琴心

佐保姫配り 仮外 題 冊
中 秋 仙

帝山
貞山
芦舟
琴心

余ふしあ人の物を黒ふ袖
ちよ法ふ目のいふ美吉
ふハ彩者半の 反朱之
行興をとめて 医要をと母
前日の中ふ 拾制る者
形て 色をも 通き自 彩

余山
貞山
貞山
帝山
琴山
芦舟
貞山
余山

猟人の地獄もきくに 弱きに
すつぼりぬけてうつしる 法螺
佐保姫の 世のこころを 形て 物
離れ 色へ 変る 反 撈
荒法海 者ふ 者の 色 色
色のこ 色の 際る 山 門

仝

谷をうふ 者る 安の 色 ふ

芦門

戎。北狄 北を四方のえびすと云

移らはしき詞

○いたけあきハ　おさなき　○いさゝ　ふる　いきたかきハ　ほこり　いざときハ　よそと　いをゝすくハ　ゆやす　いとゞハ　ひと　いさをめハ　うるさし　いかゞてハ　ねがふ　いちをあきハ　すゝやか　いたつきハ　なやみ　いさふ　ハ　いきあさハ　ひろし　いとむハ　あつし　いへゞえハ　えいたぬと　いかうん　と

あなでハ　てまり　おげあくハ　ゆあハぬ　ほゞしハ　もちれり　ゆゑハ　べし　とこ　とこハ　つねと　いろ　とみハ　すゝや　とゝて　たとも　ちうひちハ　ちうつち　ぬれぎぬハ　人のとゞをあふ　ゆん名のうつ　されてあいんハ　ひろし　あんん　うりあし　うくゝはハ　あきこ　たまさう　ハ　ふなり　かゞあつてハ　ぬひもの　あきうぞふ　かどめくハ　利根　どてん　うきろひハ　けうふ　かうくゝくハ　はめる　初あり　ゆづきハ　ほうの　たを　たうハ　なり　たるハ　あつま　たあち　らずハ　ずあり　あげのあさけハ　なげ　やうさまある　あさけと云ふ　たゝしハ　たゝし　あぐ　とこ　ゆとハ　あぐさこと　ゆふんなし　ちうがハ　ちうし　ハ　あり　ちうじ　あもほえず　ハ　あもひも　ゆ　もあれハ　えあり　やちふ　てうと　まゝ　きハ　もむや　けしうハ　あやし　もあり　けぢめ　ハ　あのさひ　めやふ　ふくさゆハ　てあり　あゆぎ　こよあふハ　かきうあさえ　又てとの外あり　ちらハ　ヲて

衣をまとくハ飯の交り　貞山
山を越れハ山雪ふる　貞徳
卯月　芦門
六月の背中　敦けハ皆あり　秋空
人生七十を寿とす　芦門
　　仝

其向ふ郷子の森あり　、
花年ふ拾て年れハ猫を抱　、
ぬへん野鉢を医ゆの口　、
法師の裏ハ　、
ぬうつと山ふ夜の雪ふ　、
ふあるへきをもを鶯の夢　、
馬明を三人の酔醒　、
梅の花ちらぬる袖の振合　、

其男うつくハ髪のうとゆふ　、

四季

君路や雪の梅うる高嶺の山　呉周
猿蓑の精みも蓑程ふ秋の　、
こゝろ雪や暁のまゆみく月と雪　、
節ふさたう弟を重ね　、

仝

ふるめハ話へあゆもふ沼子や　貞徳

むくの　ちうずまハ　ちうずふ　とうじて　ハ　ありあるる　えやハとハ　えいたあと　てふ　ハ　とふよと　ふあん　あさせらハ　あさき　あさい　あさね　あり　あさつく日ハ　朝月日　あうあくふ　ハ　あり　あもをハ　ゆあ　ゆあるる　あゆめく　ハ　あり　さうともハ　さあれハ　ゆゆづく　ひハ　ひ日と　階日と　ある　又めう　あどハ　ふあと　俳諧あ　あふ　数終

あるを抱て人の鞠や門すゝ　、
似てるるハ瓜ふたゝて后の月　、
辰金ふ後考ひたう義ふ　、

○

比叡おろしの代や神の秋　芭蕉
名月の夜の月の上ゆ　杉の　ゆ　角
蒙中俳諧季寄　大全下巻　終

和漢洋書籍發兌處

東京帝國大學　京都帝國大學
高等師範學校　第一高等學校　御用書肆
學習院　帝國圖書館

發行印刷者　大阪市東區博勞町四丁目十番地　青木恒三郎

製本發賣所　東京市日本橋通壹丁目　青木嵩山堂

仝　大阪市心齋橋筋博勞町　青木嵩山堂

賣捌所　鄂州四日市港堅町　嵩山堂支店